

- 開催日時 2011年11月18日(金)18:30～20:30
- 開催場所 法政大学 市ヶ谷キャンパス 新一口坂校舎 30教室
- 出席者 12名

■開催概要

国内外で活発化するスマートなまちづくりについて、背景にあるスマートグリッドや地域インフラの情報化と高度化、消費者・生活者の視点と情報活用の重要性、ソーシャルファイナンスの仕組みを取り入れたスマートコミュニティの必要性などについて、環境エネルギー分野を中心に地球温暖化対策や事業戦略策定で幅広い実績をお持ちの村岡元司氏にご講演いただいた。

- 講演題目 「新しいまちづくりに向けた ICT の役割 ～環境・エネルギーと金融の視点から～」
- 講演者 株式会社 NTT データ経営研究所 社会・環境戦略コンサルティング本部  
本部長 パートナー 村岡 元司 氏

■講演概要

第Ⅰ部 活発化するスマートなまちづくり

1. 国内・海外の事例
  - ・藤沢、茨木、米、独、中国、UAE ほか
2. 背景にあるスマートグリッド
  - ・電力技術と ICT を統合した賢い電力ネットワーク
  - ・導入によるビジネス拡大への期待(大規模 RE 供給、電力、消費者向け、交通、エネルギー統合管理)
3. スマートグリッドからスマートコミュニティへ
  - ・地域全体のインフラ(エネルギー、資源循環、水循環)の情報化と高度化
4. 大震災・原発事故を経てさらに高まる注目
  - ・電力需給対策と情報活用の活発化
5. エネルギー消費者はどう動くか
  - ・利用するだけの消費者からプロシューマーへ
  - ・消費者のニーズやウォンツに応じた多様なサービスの存在、消費者に届く情報の存在が前提条件
6. 求められる生活者の視点
  - ・サプライサイドに寄りすぎた(シーズオリエンティッドな)まちづくりコンセプトではなく、プロシューマーを含めた多様な消費者に対応可能なサービスモデルの創出が不可欠

第Ⅱ部 復興するソーシャルバンク

1. イタリア Etica Bank : Etica=倫理、エコ・文化・芸術を対象、銀行審査+社会環境審査、モラルの維持
2. 独 GLS Bank : GLS=共同・貸出・贈与、人間の必要性に投資、未来に向けた持続可能性
3. ベルギー CREDAL : 社会的目的、経済性+社会性(雇用創出、環境、労働条件)
4. 仏 BPCE : 環境を強化(エコファンド)、マイクロクレジット強化(セーフティネット)、組合員のつながり重視
5. ソーシャルファイナンスの仕組みを取り入れたスマートコミュニティの必要性 : 全ての情報化がキー

■質疑(ディスカッション)

- ・インフラサービスの中心は誰なのか : 原発事故による電力需給対策や過去のネットワークプロジェクトでの教訓を踏まえ、末端の消費者を見据えた情報公開の重要性と情報活用の活発化の必要性
- ・まちづくりプロジェクトなど実プロジェクトでの大学活用の必要性: 日本でも動きは出てきているが米に倣って
- ・情報活用の倫理性、情報の所有権、情報公開などの課題
- ・体系的な構想検討の必要性和課題 : シミュレーションの活用、相互運用性、セキュリティなど

以上